デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-509 HDC-508X	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：　1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　（イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　（ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
　（ニ）車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
　（ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
　（ヘ）本書のご提示がない場合。
　（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはＰ117のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはＰ117のご相談窓口にお問い合わせください。
● 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
● このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
● 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ
HDC-509
HDC-508X

このたびは、デジタルカメラ「HDC-509/508X」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P118

目次

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる
危害や障害の程度を次の表示で説明しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない(ケースは絶対に開けない)。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠警　告

アルカリ電池に注意する。

アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。

電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。

乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。

内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。

目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。
特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。

火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。

電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。

事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。

暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。

故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。

けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または関連のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- Microsoft及びWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国及びその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単4形マンガン乾電池は使用できません。**使用できる電池 P27**
万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSB／ビデオケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

撮影時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフや大きさを設定することはできません。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（※）（別売）を使用できます。
 （32/64/128/256/512MB/1/2GB対応）
 （株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムの
 SDメモリーカードを推奨します。
 ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**P58してから使用してください。
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする**P58ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消失または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（DVD-R、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

（※）SDHC規格対応のSDメモリーカードはご使用できません。

■ 商品概要

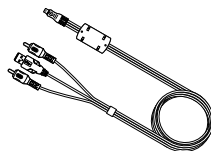
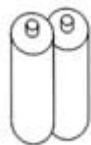
本製品は、500万画素CMOSイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、スリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。
主な特長は以下の通りです。

主な特長

○ 約500万画素CMOSイメージセンサー搭載
○ 2.4型TFTカラー液晶モニター搭載
○ 32MB内蔵フラッシュメモリー＆SDメモリーカードスロット搭載（※）P29
○ 保存に便利なコピー to SDカード機能P87
○ テレビで見れる、見ながら撮れる、みんなで楽しめるAV出力端子付き（専用USB／ビデオケーブル付属）P54
○ 季節の草花やメモ代わりに便利なマクロ撮影機能（約13cm〜約16cm）P41
○ 連写撮影機能P78
○ 動画撮影機能P42
○ 多彩な再生モード
 （シングル再生P45、ズーム再生P46、
 インデックス再生P47、動画再生P48、
 スライドショー再生P85）
○ すぐに使えるオールインワンパッケージP14
（※）SDメモリーカードは別売です。

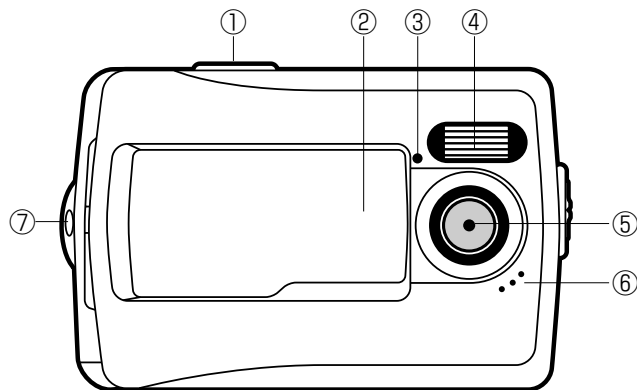
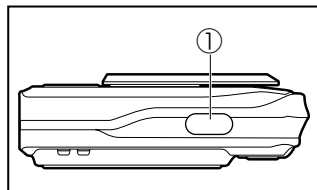
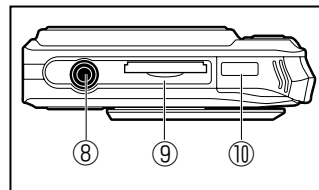
■ 同梱品

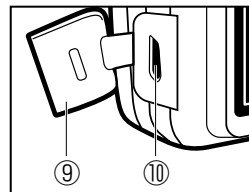
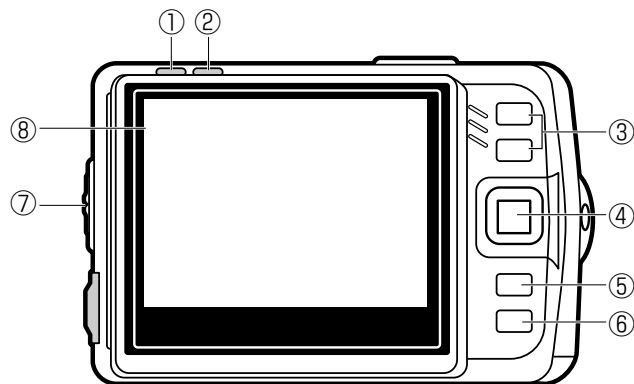
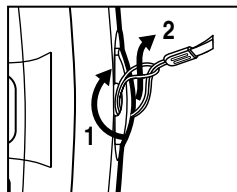
以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

・カメラポーチ　・ネックストラップ　・専用USB／ビデオケーブル

・単4形アルカリ乾電池2本　・クリーナー（ペット型）　・取扱説明書（保証書付）

●SDメモリーカードは別売です。**SDメモリーカードを入れる** **P29** 、**SDメモリーカードについて** **P12**
●**以降、この取扱説明書では、専用USB／ビデオケーブルをUSB／ビデオケーブルと表記します。**

■ 各部の名称

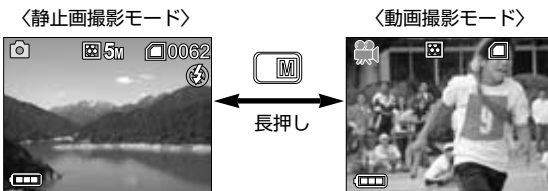
正面

①シャッターボタン
②レンズカバー
③セルフタイマーランプ（レッド）
④ストロボ
⑤レンズ
⑥内蔵マイク
⑦ネックストラップ取付部
⑧三脚ねじ穴
⑨SDメモリーカードスロット
⑩電池カバー

背面

①MACRO(マクロ)ランプ
(グリーン)
②BUSY(ビジー)ランプ
(レッド)
③セレクトボタン
④SET(セット)ボタン
⑤再生ボタン
⑥MENU(メニュー)ボタン
⑦撮影距離切替スイッチ
⑧液晶モニター
⑨インターフェースカバー
⑩USB／ビデオ端子

ネックストラップの取付け方

メニューボタン

静止画撮影モード／動画撮影モードへ切り替える場合は長押ししてください。

〈静止画撮影モード〉 〈動画撮影モード〉

長押し

各種メニューを表示させる場合、カメラの撮影モードを切り替える場合に使用します。

モード	MENUボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード	撮影時の各種設定など撮影メニューを表示させる場合や各モードに戻る場合に使用します。
再生モード	画像消去やスライドショー再生など再生メニューを表示させる場合や再生モードに戻る場合に使用します。

各モードで表示させるメニュー及び設定項目についてはメニューと設定項目を P113 ご覧ください。

再生ボタン

静止画撮影モード／動画撮影モードの各モードから再生モードへ切り替える場合に使用します。

SET(セット)ボタン

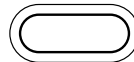
各メニュー画面においてセレクトボタンで選んだ各種設定の項目や設定内容を決定する場合に使用します。

モード	SET(セット)ボタンの役割
静止画撮影モード	ストロボモードの設定を行う場合に使用します。P39
再生モード	インデックス再生をする場合や動画再生を開始・一時停止する場合に使用します。

セレクトボタン

各メニュー画面において各種設定の項目や設定内容を選ぶ場合に使用します。

モード	セレクトボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード	デジタルズームを調整する場合に使用します。P44
再生モード	再生したい画像を選ぶ場合に使用します。

シャッターボタン

静止画を撮影する場合や、動画撮影を開始・停止する場合に使用します。

モード	シャッターボタンの役割
静止画撮影モード／動画撮影モード／再生モード	メニュー画面と設定メニュー画面を切り替える場合に使用します。

以降、この取扱説明書では、セレクトボタン、SETボタン、再生ボタン、メニューボタンでの操作を次のように表記します。

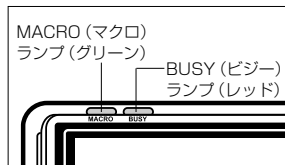
- **再生ボタン、メニューボタンを押す操作**
  →[▷]、[M]を押す
- **セレクトボタン[△]/[▽]、SETボタン[SET]を押す操作**
  →【▲】、【▼】、SETを押す
  →【▲】、【▼】で選ぶ

MACRO(マクロ)ランプ(グリーン)

点灯：マクロモード時（撮影可能範囲約13cm〜約16cm）
消灯：標準モード時（撮影可能範囲約100cm〜∞）

MACRO(マクロ)ランプ(グリーン)が点灯している状態で撮影可能範囲外の撮影を行うと焦点が合わないのでご注意ください。

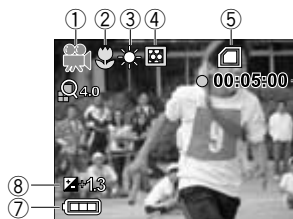
BUSY(ビジー)ランプ(レッド)

点灯：カメラ起動中／画像記録中など
点滅：ストロボ充電時など

以降、この取扱説明書では、MACRO(マクロ)ランプ(グリーン)、BUSY(ビジー)ランプ(レッド)をMACROランプ、BUSYランプと表記します。

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時 **静止画を撮る** P36

①静止画撮影モードマーク
②撮影距離モード P41
　表示なし　標準
　マクロ
③ホワイトバランス P70
　表示なし　オート
　晴天
　曇天
　白熱灯
　蛍光灯
④画質 P66
　ファイン
　ノーマル
⑤画像サイズ(記録画素数) P66
　5M（2592×1944）
　3M（2048×1536）
　2M（1600×1200）
　1M（1280×960）
⑥メモリ P29
　M 内蔵メモリー使用
　SDメモリーカード使用
⑦撮影可能枚数 P115
⑧ストロボモード P39
　発光禁止
　オート
　強制発光
⑨フォーカスフレーム P36
⑩ 手ぶれ注意マーク
　手ぶれについて P38
⑪電池残量 P28
　電池の残量は十分です。
　電池の残量が少なくなっています。
　まもなく電池の残量がなくなります。
　電池の残量がありません。
⑫露出補正 P72
　−2EV〜+2EV(1/3EVステップ)
　(※±0時は非表示)
⑬セルフタイマー P75
　セルフタイマー10秒
　(※オフ時は非表示)
⑭ズーム P44
　1.0〜4.0倍
　(※ズーム使用時のみ表示)

動画撮影モード時　動画を撮る P42

①動画撮影モードマーク

②撮影距離モード P41

表示なし　標準

マクロ

③ホワイトバランス P70

表示なし　オート

晴天

曇天

白熱灯

蛍光灯

④画質 P66

ファイン

ノーマル

⑤メモリ P29

内蔵メモリー使用

SDメモリーカード使用

⑥撮影時間（※動画撮影中に表示）

⑦電池残量 P28

電池の残量は十分です。

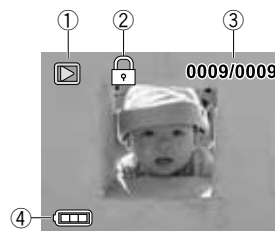
電池の残量が少なく
なっています。

まもなく電池の残量が
なくなります。

電池の残量がありません。

⑧露出補正 P72

－2.0EV～＋2.0EV
（1/3EVステップ）
（※±0時は非表示）

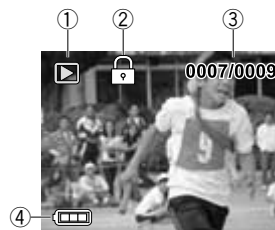
再生モード時（静止画）　静止画を見る P45

①再生モードマーク

②プロテクトマーク P82
（※プロテクト設定時に表示）

③画像ナンバー

現在表示されている
画像ナンバー／すべての画像数

④電池残量

再生モード時（動画）　動画を見る P48

①再生モードマーク

②プロテクトマーク
（※プロテクト設定時に表示）

③画像ナンバー

現在表示されている
画像ナンバー／すべての画像数
（※再生中は経過時間を表示）

④電池残量

基本操作編

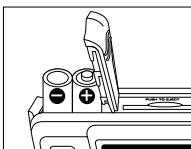
カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

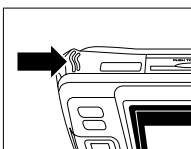
準備する

■ 電池を入れる

1

電池カバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2

＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。

3

電池カバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフ P31 にして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長時間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

本機は単4形アルカリ乾電池以外に、単4形ニッケル水素電池を使用できます。(日立マクセル(株)HR-4SD推奨)

液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示** P28 をご覧ください。

- 単4形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単4形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安(CIPA規格による撮影可能枚数 P115)は、約50枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単4形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。
- オキシライド乾電池を使用することは可能ですが、電池残量の表示など正しく表示できない場合があります。

電池残量の表示

▭ 電池の残量は十分です。
▭ 電池の残量が少なくなっています。
▭ まもなく電池の残量がなくなります。
（**この表示の場合は、ストロボを使用することはできません。**
また、**フォーマットする** P58 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）
▭ 電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P115 にてご確認ください。

■ SDメモリーカードを入れる

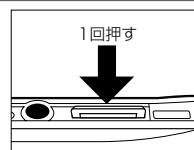
SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1/2GB対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。（内蔵32MBフラッシュメモリー搭載）
また**内蔵メモリー内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P87 こともできます。

- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間** P115 **をご覧ください。**

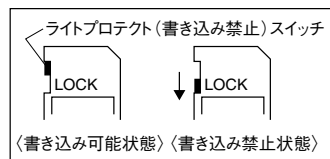
- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）** P58 してから使用してください。
- SDメモリーカードを使用するときは、SDメモリーカードの取扱説明書をあわせてお読みください。

1

SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを挿入します。
SDメモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

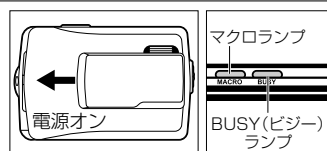
2

SDメモリーカードを取り出す場合は、SDメモリーカードを1回押して取り出します。

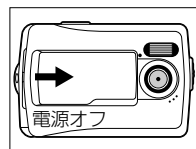
SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。電源がオンの状態でSDメモリーカードを取り出すと、SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になります。

SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)について

SDメモリーカードにはライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがついています。
ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが、「LOCK」になっていると、通常の撮影や消去ができません。
撮影モードでは、(カードロックアイコン)が表示し、シャッターボタンを押すと、「メモリーロック!」と表示され撮影できません。
他のモードでは、[消去]や[フォーマット]などの選択ができない項目があります。

例〈静止画撮影時〉

■ 電源のオン/オフ

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。
BUSYランプ、マクロランプが点灯し、静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

2

レンズカバーをゆっくりと閉じて電源をオフにします。

レンズカバーの開閉動作が早すぎると、電源がオンしない場合があります。その場合は、ゆっくりと操作をやり直してください。

オートパワーオフ機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能(オートパワーオフ機能)がついています。
電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する(初期設定は[1分] P64)と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときはレンズカバーを開いて電源をオンにしてください。

- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P85 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 電源周波数（ヘルツ）を設定する

電源周波数は、各国、各地で異なります。室内撮影をする場合、蛍光灯などの影響を受ける可能性がありますので、国や地域にあった電源周波数で撮影することをおすすめします。

電波周波数のお買い上げ時の設定は [50Hz] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから M を押します。

[静止画撮影]／[動画撮影]／[再生] メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。

[セットアップ] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [電源周波数] を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で [50Hz]／[60Hz]を選び、

SETを押します。

[セットアップ] メニューに戻ります。

ここで選んだ電源周波数（ヘルツ）は、初期設定に戻す **P60** **操作や電源をオフにした後も保持されます。**

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約12時間バックアップされますが、電池の使用時間によっては、リセットされる場合があります。**
- **ここで設定した日付／時刻、表示形式は、電源をオフにした後や初期設定に戻す** **P60** **操作を行っても保持されます。**

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから M を押します。
[静止画撮影]／[動画撮影]／[再生] メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。
[セットアップ] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [日付／時刻] を選び、

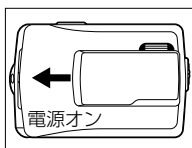
SETを押します。
日付／時刻設定画面が表示されます。

4

「年月日」→「時間」の順に【▲】【▼】、シャッターボタンを使ってあわせ、
【▲】：数値をプラス（＋）
【▼】：数値をマイナス（−）
（シャッターボタン）：数値の決定と項目の移動

すべて合わせたらSETを押します。
[セットアップ] メニューに戻ります。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

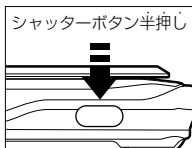
静止画撮影モードで起動し、液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P31

2

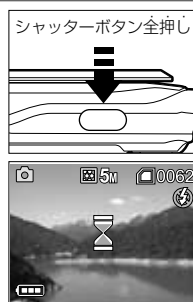
脇を締めて両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、両手のひじは体につけ、カメラをしっかりと固定してください。

3

シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに**[　]**が表示されます。
“ピッ”という音が鳴ります。

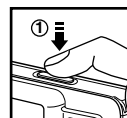
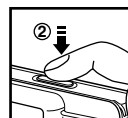
シャッターボタンの押し方 P37

4

半押しのまま、被写体の中心を[　]にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- “ピピッ”という音とBUSYランプの点灯で撮影開始をお知らせします。液晶モニターには が表示されます。
  “ピピッ”という音とBUSYランプの消灯で、撮影の完了をおしらせします。

- BUSYランプの点灯中は、“画像記録中”のため、次の撮影はできません。
- 撮影したあとに、BUSYランプが点滅している場合は、ストロボの充電中です。**ストロボを使う** P39
- シャッターボタンを全押しして、すぐにカメラを動かすと画像がブレる原因になります。 の表示が終わるまで、カメラを固定してください。

シャッターボタンの押し方

シャッターボタンは半押しと全押しの2段階で動作します。

①**半押し**（浅く押したとき）→液晶モニターに**[　]**を表示します。
②**全押し**（深く押したとき）→シャッターが切れます。

半押しで構図を確かめ、全押し時は指の腹でやさしく押してください。全押し時に力が入ると、カメラが下がり画像がブレる原因になります。

手ぶれについて

・シャッターボタンを全押しするときは、手ぶれに十分ご注意ください。
・室内での撮影等、被写体の明るさが暗く、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ注意マークが表示されます。
・手ぶれ注意マークが表示されている場合は、被写体や撮影モード（ストロボモードなど）を変更するか、三脚を使うなどして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

手ぶれを軽減するポイント

手ぶれは、撮影時にカメラが上下左右に動いたことにより発生いたしますので、カメラが動かないように注意することが上手に写真を撮影するためのポイントとなります。
本機で撮影する場合は、カメラ本体が動かないように心がけてください。
＊本機には、手ぶれ軽減機能はついていません。

手ぶれを軽減する手順

1
身体が揺れにくい姿勢をとる。

2
脇を軽く締める。（脇に軽く力を入れる）

3
手首が動かないようにする。（手首に軽く力を入れる）

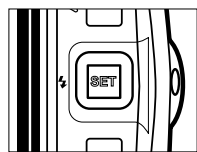
4
肘は楽にする。（動きやすくする）

5
シャッターを押す時、必要以上に強く押さない。

6
画像の取り込みが完了するまで、カメラと身体を動かさない。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1

静止画撮影モードで、SETを繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

● 選んだストロボモードが液晶モニターに表示されます。
● ストロボオートモードを選ぶと、BUSYランプが点滅し、ストロボの充電中をおしらせします。

ストロボの充電中は、液晶モニターは表示されません。

ストロボモード	設定内容
発光禁止モード	ストロボは発光しません。**初期設定** 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ブレが起こりやすくなりますので、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。
オートモード	撮影環境に応じて自動的にストロボを発光します。
強制発光モード	常にストロボを発光させます。

- ストロボによる連動範囲(推奨)は、約1.0m～約1.5mになります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果を得られない場合がありますので、連動範囲を目安にご使用ください。
- ストロボ撮影時において、被写体までの距離が連動範囲より近い場合は、画像が白とびする(白くなる)場合があります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P60 操作を行うと 発光禁止モードに戻ります。
- 電池残量が の場合や マクロモード時、連写撮影モード時 P78 は、ストロボは発光しません。
- 電池残量が の場合でも、暗いところの撮影時にストロボが発光しない場合や、ストロボの充電中に電源がオフになる場合があります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
- ストロボ撮影したあとにBUSYランプが点滅している場合はストロボの充電中です。ストロボの充電中はシャッターボタンを押しても撮影することはできません。
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。ストロボの充電時間はご使用環境や電池残量によって異なります。
- **手ぶれ注意マークが表示されている場合は、 オートモードでの使用をおすすめします**。

■ 近距離撮影をする(マクロ撮影)

マクロモードに設定して撮影すると、約13cm～約16cmの近距離撮影(静止画撮影)が可能になります。

1

静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを (マクロモード)に切り替えます。

MACROランプが点灯し、マクロモードが設定されたことをおしらせします。

マクロモード：
撮影可能範囲約13cm～約16cm
標準モード：
撮影可能範囲約100cm～∞

- マクロモードと標準モード以外の範囲では、焦点が合いにくい場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。
- マクロモードに設定すると、ストロボは発光しません。

■ 動画を撮る

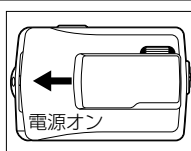
本機は動画（音声あり）を撮影することができます。撮影した動画はカメラで再生することができますが、本機には音声再生用のスピーカーがないため、音声の再生はできません。音声を再生したい場合には、付属のUSB／ビデオケーブルでテレビやパソコンに接続して、再生してください。

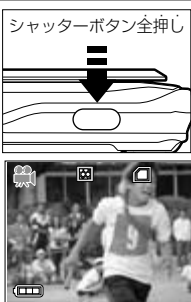
動画ファイルについて P43

1

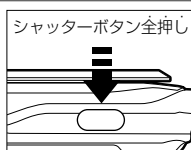
レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

静止画撮影モードから、Mを長押しして、動画撮影モードに切り替えます。

3

シャッターボタンを全押しします。

●液晶モニターに撮影時間が表示され、撮影が開始されたことをおしらせします。

5

撮影をストップするときは、シャッターボタンを全押しします。

動画撮影を停止します。

●撮影に必要なメモリー残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。
●ストロボ、セルフタイマー撮影はできません。
●マクロモード P41 、ホワイトバランス P70 、露出補正 P72 の設定は動画撮影時も有効です。

動画ファイルについて

画像サイズ（記録画素数）	640×480ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声あり）
フレームレート	約30フレーム/秒
記録時間	内蔵フラッシュメモリー32MB時：最大約27秒

記録時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

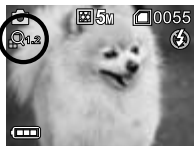
●動画ファイル（ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player（※）などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。
（※）Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック（Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張（再生）を行うための専用プログラム）が含まれるDirectX8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

■ ズーム撮影をする

被写体をズーム倍率4倍（デジタルズーム）で拡大して撮影できます。

1

静止画撮影モード／動画撮影モードで、【▲】【▼】を押して、ズームを調整します。

液晶モニターにズームアイコンが表示され、ズーム倍率（数値）を表示します。

- ズーム撮影は**動画撮影時（撮影中）も有効です**。
- ここで選んだデジタルズームは、撮影後も有効ですが、再度電源を入れ直すと、ズームなし（標準）に戻ります。
- デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできませんので、ご注意ください。

静止画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。

シングル再生をする場合は

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

静止画撮影モードから

を押します。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【▲】【▼】で画像を選びます。

基本操作編

ズーム撮影をする・静止画を見る

ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像をズーム再生することができます。

1

【▲】【▼】でズーム再生したい画像を選び、

シャッターボタンを押します。

ズームアイコンが表示され、ズーム倍率設定モードに切り替わります。

2

【▲】【▼】でズーム倍率を選びます。

SETボタンを押すと、ズーム倍率設定モードを解除します。ズーム再生をする場合は、もう一度シャッターボタンを押します。

3

表示位置を変更する場合はシャッターボタンを押します。

上下左右の操作ガイドが表示され、表示位置設定モードに切り替わります。

▲(上):［△］を押す　P(右):［M］を押す
▼(下):［▽］を押す　M(左):［▷］を押す

SETを押すと、ズーム倍率設定モードを解除します。

インデックス再生をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。
たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

1

静止画撮影モードから［▷］を押します。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

SETを押します。

インデックス再生画面になります。

3

【▲】【▼】で画像を選びます。

4

SETを押すと選んだ画像のシングル再生画面になります。

動画を見る

動画を再生する場合は

1

動画撮影モードから ▶ を押します。

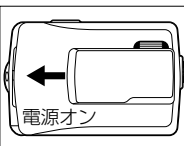
最後に撮影された動画が表示されます（シングル再生）。

2

【▲】【▼】で画像を選びます。

● 動画の場合は最初の1フレームが表示されます。

【▲】→

【▼】→

3

SETを押すと再生をスタートし、撮影時間がカウントされます。

再生中に再びSETを押すと一時停止します。

再生中にシャッターボタンを押すと再生を中止します。

本機にスピーカーがないため、音声の再生ができません。音声を再生したい場合は、USB／ビデオケーブル（付属）でテレビやパソコンに接続して、再生してください。

動画像はズーム再生、インデックス再生できません。

画像を消去する

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。

消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。

特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

▶ を押して ▶ 再生モードにします。

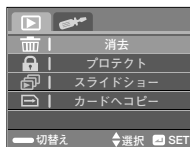
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

消去したい画像を【▲】【▼】で選びます。

3

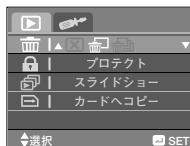
M を押します。

［再生］メニューが表示されます。

4

【▲】【▼】で [消去] を選び、

SETを押します。

[消去]メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で (現在の画像) を選び、

（キャンセルする場合は ☒（戻る）を選びます。）

SETを押します。

画像選択画面が表示されます。

6

【▲】【▼】で [実行] を選び、

SETを押します。

選んだ画像が消去され、次の画像が表示されます。

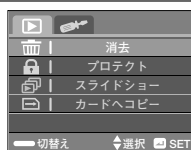
キャンセルする場合は【▲】【▼】で [戻る] を選び、SETを押します。

再生モードに戻ります。

- すべての画像を消去する場合は、**すべての画像を消去する場合** P52 の手順で操作してください。

すべての画像を消去する場合

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

2

[▷]を押して[▷]再生モードにします。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

[M]を押します。

[再生] メニューが表示されます。

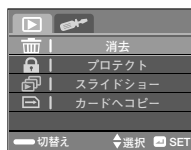
4

【▲】【▼】で [消去] を選び、

SETを押します。

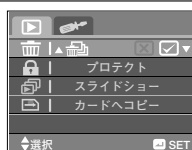
[消去]メニューが表示されます。

5

【▲】【▼】で[全消去]を選び、

（キャンセルする場合は [☒] を選びます。）

SETを押します。

消去確認画面が表示されます。

6

【▲】【▼】で☑（実行）を選び、

SETを押します。

全画像が消去され、液晶モニターに「ファイルなし！」と表示されます。

キャンセルする場合は【▲】【▼】で☒を選び、SETを押します。

再生モードに戻ります。

テレビを使って再生／撮影する

同梱のUSB／ビデオケーブルを使用すると、テレビに画像を表示して通常の撮影や再生ができます。

テレビと接続する前に

テレビと接続する前に、テレビの方式を確認します。

NTSC方式の主な国：**日本**、アメリカ、韓国、カナダなど
PAL方式の主な国　：イギリス、イタリア、スイス、スペイン、オーストラリア、オランダなど

ビデオ出力のお買い上げ時の設定は [NTSC] が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから M を押します。
[静止画撮影]／[動画撮影]／[再生] メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。
[セットアップ] メニューが表示されます。

3 【▲】【▼】で [ビデオ出力] を選び、

SETを押します。

4 【▲】【▼】で [NTSC]／[PAL] を選び、

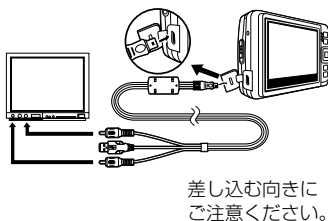
SETを押します。

ここで選んだビデオ出力は、電源をオフにした後も保持されます。

1 **テレビと接続する前に** P54 に従って、テレビの方式を確認し、カメラの電源をオフにします。

2 USB／ビデオケーブル（付属）のミニプラグをカメラのUSB/ビデオ端子に差し込みます。

3 USB／ビデオケーブルの黄色いプラグをテレビの画像入力端子に、白いプラグをテレビの音声入力端子に接続します。

差し込む向きにご注意ください。

4 テレビの電源をオンにして、テレビの入力切替をビデオ入力モードに切り替えます。

5 レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

電源のオン／オフ P31

テレビに静止画撮影モードの映像が表示されます。

6 再生する場合は [▶] を押して再生モードに切り替えます。

静止画を見る P45 ・**動画を見る** P48

- USB／ビデオケーブルを接続したり、取り外すときは、必ずカメラとテレビの電源をオフにして行ってください。
- 接続した際は、USB／ビデオケーブルをたるませてください。過度な力が加わると端子を破損する恐れがあります。
- テレビに接続しているときは、液晶モニターは表示されません。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について

■ フォーマットする

モード：

フォーマット（初期化）とはSDメモリーカードに画像及びデータを記録できるようにする作業のことです。

- 新しいSDメモリーカードや、他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット（初期化）**してから使用してください。
- フォーマット（初期化）するとSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから M を押します。

［静止画撮影］／［動画撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。

［セットアップ］メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で☑（実行）を選び、

（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）

SETを押します。

フォーマットが実行され［セットアップ］メニューに戻ります。

- フォーマット実行中は液晶モニターに ⌛ が表示されます。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまったなど、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから Mを押します。

[静止画撮影] ／ [動画撮影] ／ [再生] メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。

[セットアップ] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [初期設定] を選び、

SETを押します。

4

初期設定に戻す場合は【▲】【▼】で☑(実行)を選び、

SETを押します。

各種設定を初期設定に戻し、静止画撮影モード／動画撮影モード／再生モードに戻ります。

キャンセルする場合は【▲】【▼】で☒を選び、SETを押します。

[セットアップ] メニューに戻ります。

各項目の初期設定

設定項目	初期設定
画像サイズ P66	2592×1944（約500万画素）
画質 P66	ファイン
ホワイトバランス P70	オート
露出補正 P72	±0
色効果 P74	フルカラー
オートパワーオフ P64	1分

表示言語、電波周波数（ヘルツ）、ビデオ出力の項目は**初期設定に戻す**操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

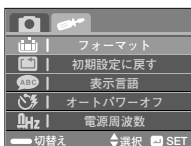
■ 表示言語を設定する

モード：

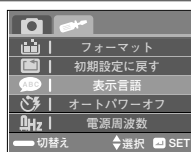
液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
英語
简体中文

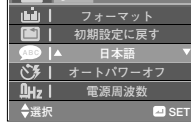
表示言語のお買い上げ時の設定は［日本語］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから を押します。

［静止画撮影］／［動画撮影］／［再生］メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。

［セットアップ］メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［表示言語］を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、

SETを押します。

選んだ内容を保持し「セットアップ」メニューに戻ります。

ここで選んだ表示言語は、初期設定に戻す P60 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ オートパワーオフの時間を設定する

モード：

オートパワーオフの時間を設定できます。

オートパワーオフ機能について P31

⊠ オフ
1分 **初期設定**
3分

1

静止画撮影／動画撮影／再生モードから M を押します。

[静止画撮影]／[動画撮影]／[再生] メニューが表示されます。

2

シャッターボタンを押します。

[セットアップ] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [オートパワーオフ] を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で [オフ]／[1分]／[3分] を選び、

SETを押します。

- ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P60 操作を行うと [1分] に戻ります。
- USB接続している場合や、**スライドショー再生** P85 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

撮影（静止画／動画）について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード： 📷 🎥

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

画像サイズ（記録画素数）

5M（2592×1944）（約500万画素） **初期設定**
3M（2048×1536）（約315万画素）
2M（1600×1200）（約200万画素）
1M（1280×960）（約123万画素）

画質（圧縮率） **初期設定**

ファイン：（低圧縮(静止画：1/8、動画：1/12)モード）
ノーマル：（高圧縮(静止画：1/20、動画：1/16)モード）

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P60 操作を行うと画像サイズは5M [2592×1944] に、画質は [ファイン] 戻ります。
- 各画像サイズ、画質での記録枚数については、**画像記録枚数・時間** P115 をご覧ください。
- 動画撮影時の画像サイズは変更できません。

画像サイズを設定する場合

1

静止画撮影モードから [M] を押します。
[静止画撮影] メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [画像サイズ] を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で [5M]／[3M]／[2M]／[1M] を選び、

SETを押します。

画質を設定する場合

1

静止画撮影モードから【M】を押します。

[静止画撮影] メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で [画質] を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で [ファイン] ／[ノーマル] を選び、

SETを押します。

画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、画像はよりきれいになりますが、データ容量は大きくなり、メモリーに記録できる画像枚数が少なくなります（画像記録中の時間も長くなります）。
2592×1944／2048×1536／1600×1200はプリントユースで使用する場合、1280×960はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

■ ホワイトバランスを設定する　モード：

撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

A **オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**

晴天：晴天下での撮影

曇天：曇天下での撮影

白熱灯：白熱灯下での撮影

蛍光灯：蛍光灯下での撮影

1

静止画撮影／動画撮影モードから を押します。

［静止画撮影］／［動画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［ホワイトバランス］を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、

SETを押します。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P60 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する　モード：

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出（明るさ）を補正することができます。

○設定できる露出補正の段階
（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：

−2EV • • −1EV • • 0EV • • 1EV • • 2EV

暗くする　明るくする

1

静止画撮影／動画撮影モードから［M］を押します。

［静止画撮影］／［動画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［露出補正］を選び、

SETを押します。

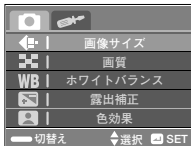
3

【▲】【▼】で露出補正の段階を選び、

SETを押します。

ここで選んだ露出補正の段階は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P60 操作を行うと［0EV］に戻ります。

応用操作編

露出（明るさ）補正を設定する

■ 色効果を設定する

モード：📷

撮影画像の色効果を設定します。

- フルカラー
- セピア
- 白黒

1

📷静止画撮影モードから Ⓜを押します。

［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［色効果］を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で［フルカラー］／［セピア］／［白黒］を選び、

SETを押します。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後や**初期設定に戻す** P60 操作を行うと［フルカラー］に戻ります。

■ セルフタイマーで撮る

モード：📷

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。

セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

- オフ **初期設定**
- 10秒：10秒後に撮影されます。

1

📷静止画撮影モードから Ⓜを押します。

［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［セルフタイマー］を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で［10秒後］を選び、

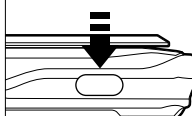
SETを押します。

4

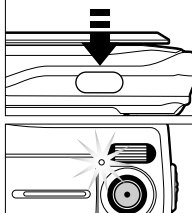
[M]を押して[カメラ]静止画撮影モードに戻ります。

液晶モニターに[セルフタイマー10]が表示されます。

5

シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに**［　］**が表示されます。

シャッターボタンの押し方 P37

6

半押しのまま、被写体の中心を［　］にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- セルフタイマーランプ（レッド）が点滅し、液晶モニターに数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始します。設定時間後に撮影されます。

- セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、シャッターボタンをもう一度押します。
- 撮影時の各設定（画像サイズ、ズーム、ホワイトバランス、露出補正、マクロモードなど）はセルフタイマー撮影時も有効です。
- セルフタイマーモードは、再度電源を入れ直したり、一度撮影が終わると解除されます。

■ 連写撮影をする

モード：📷

本機は連写撮影をすることができます。
1回のシャッターボタンの操作で、自動的に3枚（約1秒間隔）の画像を連写撮影します。

1

📷静止画撮影モードから Ⓜを押します。

［静止画撮影］メニューが表示されます。

2

【▲】【▼】で［撮影モード］を選び、

SETを押します。

3

【▲】【▼】で［連写撮影］を選び、

SETを押します。

［シングル撮影］は通常の1枚ずつ撮影するモードです。

4

Ⓜを押して📷静止画撮影モードに戻ります。

液晶モニターに が表示されます。

5

構図を決め、シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【 】が表示されます。

シャッターボタンの押し方 P37

6

半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

- 液晶モニターに数字が1、2、3と表示され、3枚の画像を連写撮影します。

- ここで選んだ撮影モードは、再度電源を入れ直すと［シングル撮影］に戻ります。
- ［連写撮影］を選んでいる場合は、ストロボは発光しません。 モードになります。
- ［連写撮影］を選んでいる場合は、**セルフタイマー撮影**はできません。

再生(静止画／動画)について

■ 画像プロテクトを設定する

モード：▷

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトを設定することができます。

- プロテクトを設定した画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。
- プロテクトを設定した画像は、画像の消去時は有効ですが、**フォーマットする** P58 操作を行うと消去されます。
- プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチ P30 を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。

1

静止画撮影／動画撮影モードから▷を押します。

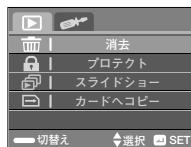
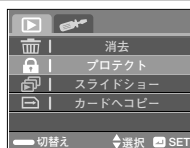
最後に撮影された画像が表示されます(シングル再生)。

プロテクトしたい画像を【▲】【▼】で選びます。

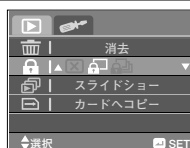
2

Mを押します。

[再生] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [プロテクト] を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で **(現在の画像)を選び、**

(キャンセルする場合は ☒(戻る)を選びます。)

SETを押します。

画像選択画面が表示されます。

5

【▲】【▼】で［実行］を選び、

SETを押します。

選んだ画像にプロテクトが設定され、液晶モニターに が表示されます。

キャンセルする場合は【▲】【▼】で［戻る］を選び、SETを押します。

［再生］メニューに戻ります。

●プロテクトを解除する場合は上記手順 5 において、【▲】【▼】で再度［実行］を選び、SETを押します。

すべての画像にプロテクトを設定する場合は、**すべての画像にプロテクトを設定する場合** P83 の手順で操作してください。

すべての画像にプロテクトを設定する場合

1

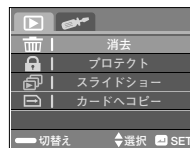
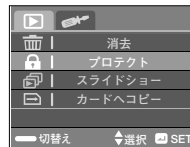
静止画撮影／ 動画撮影モードから を押します。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

を押します。

［再生］メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で［プロテクト］を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で を選び、

（キャンセルする場合は を選びます。）

SETを押します。

応用操作編

画像プロテクトを設定する

【▲】【▼】で 解除アイコン を選び、
(キャンセルする場合は ☒ を選びます。)

SETを押します。
すべての画像にプロテクトが設定され、[再生]メニューに戻ります。
●プロテクト設定中は液晶モニターに ⌛ が表示されます。

●すべての画像のプロテクトを解除する場合は上記手順5において【▲】【▼】で 解除アイコン を選び、SETを押します。

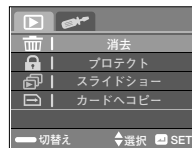
■ スライドショー再生をする

モード：▷

メモリー内にあるすべての画像を約3秒間隔でスライドショー再生することができます。

1

📷 静止画撮影モードから ▷ を押します。
最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

2

M を押します。
[再生] メニューが表示されます。

3

【▲】【▼】で [スライドショー] を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で☑（実行）を選び、

（キャンセルする場合は ☒ を選びます。）

SETを押します。

メモリー内にある一番最初の画像からスライドショー再生を開始します。

●再生中に、SET、シャッターボタン、 Ⓜ を押すと、スライドショー再生を停止して［再生］メニューに戻ります。

●スライドショー再生時の再生間隔や画面切替方法、表示モードを設定することはできません。
●動画の場合はスライドショーはできません。
●スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P64 ははたらきません。

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

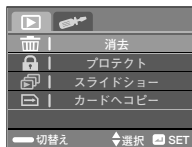
モード： ▷

内蔵メモリー（32MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。
SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

●本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
●本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
電池残量が▭の場合は、**電池を交換してから本操作を行うことをおすすめします。**
●本操作を行うと、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
●本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

1

📷静止画撮影／🎥動画撮影モードから ▷ を押します。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

[M]を押します。

[再生] メニューが表示されます。

3

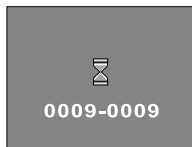
【▲】【▼】で [カードへコピー] を選び、

SETを押します。

4

【▲】【▼】で☑(実行)を選び、

(キャンセルする場合は ☒ を選びます。)

SETを押します。

液晶モニターに ⌛ と画像枚数のカウントが表示されて内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーし、[再生] メニューに戻ります。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows 2000/XP/Vista
　　日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 **カメラとパソコンを接続する** P91

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 **［マイコンピュータ］または［コンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。** P92

↓

3 **カメラを取り外す** P95

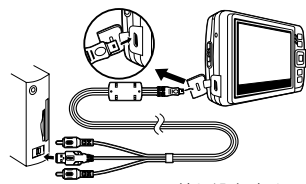
1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

- 液晶モニターは表示されません。
- USB接続中は**オートパワーオフ機能** P31 ははたらきません。
- 電源はパソコン本体から供給されます。
- コピー（通信）中はUSB／ビデオケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P95 に従って操作してください。

1 カメラの電源がオフになっているかを確認します。オフになっていない場合は、レンズカバーをゆっくりと閉じて電源をオフにします。

2 USB／ビデオケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

差し込む向きにご注意ください。

レンズカバーをゆっくりと開き電源をオンにします。
BUSYランプが点灯し、カメラが［リムーバブルディスク］として認識されます。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。

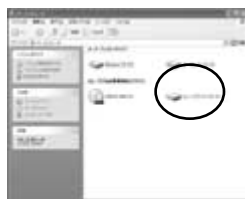
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- Windows XPをお使いの場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。
Windows Vistaをお使いの場合は [X] をクリックします。

〈Windows XP〉

〈Windows Vista〉

2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ/ライタ接続）

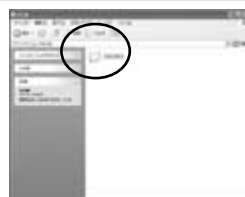
市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

1カメラとパソコンを接続する P91 に従い、カメラとパソコンを接続し、[マイコンピュータ]または[コンピュータ]から[リムーバブルディスク]をダブルクリックして開きます。

- [リムーバブルディスク]が表示されていない場合は、**パソコン接続でお困りの時の確認方法** P96 をご覧ください。

2

[DCIM]フォルダをダブルクリックして開きます。

3

[100_HCAM]（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

4

パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー(通信)中はUSB／ビデオケーブルを抜いたり、カメラのボタン類を押したりしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ(カメラ)内にコピーしたデータは**フォーマットする** P58 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について:
XXX_HCAM
フォルダの通し番号(100～999)

ファイル名について:
HIMGYYYY.jpg(動画ファイルは.avi)
ファイルの通し番号(0001～9999)

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USB／ビデオケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

2 タスクバー上の[ハードウェアの取り外し]アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで[停止します(取り外します)]をクリックします。

タスクバー

〈Windows Vistaの場合〉 ハードウエアの安全な取り外し

〈Windows XPの場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します

〈Windows 2000の場合〉 USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (J:) を停止します

[停止します(取り外します)]をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。
（Windows XPでは [OK] のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

■ パソコン接続でお困りの時の確認方法

デジタルカメラ(以下、カメラ)をパソコンに接続しても、「パソコンに認識できない」場合等、パソコンとの接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 最初に、ご使用のパソコンに接続されておりますすべてのUSB機器を取り外し、パソコンとカメラのUSB端子にカメラに同梱いたしております専用のUSBケーブルの端子が奥までしっかり装着されているか、ご確認ください

2 パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？

Windows 98/98SE/ME→弊社カメラはWindows ME以前のOSのサポートはいたしておりません。

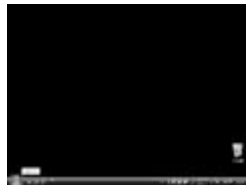
Windows 2000/XP/Vista→ **3** へ進んでください。

3 アルカリ乾電池を新品に入れ換える。（充電池の場合は充電する）

確認結果： 認識されない。→Windows Vistaをご使用の場合は、**4** へ進んでください。Windows 2000/XPをご使用の場合は **5** へ進んでください。

認識された。→電池が消耗していたと思われます。

4 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

1）"スタート" をクリックする。

2）"コンピュータ"を右クリックし、"プロパティ" を選択する。
"プロパティ" が表示されない。
→ **8** へ進んでください。

3）システム情報の画面が表示されます。
4）システム情報の画面の左上側の“デバイスマネージャ”を選択する。
5）“ユーザーアカウント制御”の画面が表示されますので、“続行”を選択する。

6）“デバイスマネージャ”が開きます。
7）“デバイスマネージャ”の中の“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の左側の“+”をクリックする。

8）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の詳細が表示されます。
9）“ユニバーサルシリアルバスコントローラ”の中に“USB大容量記憶装置”が表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。
→ **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。
→ **10** へ進んでください。

5 次の手順で、パソコンにカメラが認識されているか確認してください。

確認手順：

1）“スタート”をクリックする。

2）“マイコンピュータ”を右クリックし、“プロパティ”を選択する。
“プロパティ”が表示されない。
→ **8** へ進んでください。

3）“システムのプロパティ”が開きます。
4）“システムのプロパティ”上段の“ハードウェア”を選択する。

5）“デバイスマネージャ”を
クリックする。

6）“デバイスマネージャ”が
開きます。

7）“デバイスマネージャ”の中の
“USB”（Universal Serial
Bus）コントローラの左側の“+”
をクリックする。

8）“USB”（Universal Serial
Bus）コントローラの詳細が
表示されます。

9）“USB”（Universal Serial
Bus）コントローラの中に“USB
大容量記憶装置デバイス”が
表示されているかを確認する。

確認結果：“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されている。
→ **6** へ進んでください。
“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されていない。
→ **10** へ進んでください。

6 他のパソコンに接続した場合、カメラはパソコンに認識されますか？

はい： **7** へ進んでください。
いいえ： **10** へ進んでください。

7 カメラが認識されないパソコンに再度接続して認識できますか？

はい： **11** へ進んでください。
いいえ： **9** へ進んでください。

8 “コンピュータ”（Windows Vistaの場合）もしくは、“マイコンピュータ”（Windows 2000/XPの場合）の“プロパティ”が表示されない。

要因：・パソコンの管理者による制限が施されている可能性があります。パソコンの管理者に確認してください。

9 “USB大容量記憶装置”が表示されているが、“コンピュータ”等に表示されない。（Windows Vistaの場合）“USB大容量記憶装置デバイス”が表示されているが、“マイコンピュータ”等に表示されない。（Windows 2000/XPの場合）

要因：・パソコンのシステムもしくは、パソコンのソフトウェア等に起因している可能性があります。パソコンの管理者もしくは、パソコンメーカー様へ、ご確認下さい。

10 “USB大容量記憶装置”（Windows Vistaの場合）もしくは、“USB大容量記憶装置デバイス”（Windows 2000/XPの場合）が表示されていない”

要因：・カメラもしくはUSBケーブルが壊れている可能性がございますので、ご購入店へお持ちください。
・パソコンのUSB端子もしくは、システム上の問題である場合もございます。詳しくは、パソコンメーカー様等へ、ご確認下さい。

11 カメラをパソコンに再接続したら正常に認識できた。

要因：・パソコンへのUSB接続時の認識が何らかの要因により失敗したことによる可能性が考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

付録

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。 P26
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、レンズカバーを開いて電源をオンにする。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単4形アルカリ乾電池もしくは単4形ニッケル水素電池をご使用ください。	—
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P64
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しく表示されない。	●温度が極端に高いまたは低いところで使用している。	—
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。 P26

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→を押して、 静止画撮影モードに切り替える。 P18
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P31
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所へ移動して撮影する。
	●ストロボの充電をしている。(ストロボオートモードに切り替えた直後)	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。 P39
撮影できない	●画像記録中・ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→BUSYランプの点灯・点滅が終わってから撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。	→を長押しして、 静止画撮影モードに切り替える。P17
	●静止画撮影時、再生モードになっている。	→を押して、 静止画撮影モードに切り替える。 P18
	●動画撮影時、静止画撮影モードになっている。	→を長押しして、 動画撮影モードに切り替える。P17
	●動画撮影時、再生モードになっている。	→を押して、 動画撮影モードに切り替える。 P18

症状	原因	処置
撮影できない。	●ストロボの充電をしている。(ストロボオートモードに切り替えた直後)	→ストロボの充電が終わるまでお待ちください。P39
	●オートパワーオフ機能がはたらき、電源がオフになった。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P64
	●メモリー残量がない。	→画像サイズを小さくする。P66 →SDメモリーカード内の画像を消去する P49 か、別のSDメモリーカードと交換する P29 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(シャッターを押すと、液晶モニターに が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P30
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードを オートまたは 強制発光にする。P39
	●マクロモードになっている。	→標準モードに切り替えて P41 、再度ストロボオートモードを選択する。
	●電池残量が少ない場合は、ストロボオートモードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	→新しい電池と交換する。P26
	●被写体が明るい。	→ストロボモードを 強制発光にする。P39
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲(約1.0m〜約1.5m)で撮影する。P40

症状	原因	処置
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●被写体が近い。	→ストロボ連動範囲 P40 (約1.0m〜約1.5m)で撮影する。
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●マクロモードで遠景を撮影している。	→標準モード(約100cm〜∞)に切り替える。P41
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲(マクロ時:約13cm〜約16cm、標準時:約100cm〜∞)で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズを清掃する。P10
	●画像ブレ・手ぶれ	→しっかりとカメラを固定(三脚を使うなど)して撮影する。
画像にしまがはいる。	●電源周波数(ヘルツ)が影響している。	→電源周波数(ヘルツ)を合わせる。P32
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→SDメモリーカード内の画像を消去する P49 か、別のSDメモリーカードと交換する P29 。
静止画/動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→（再生ボタン）を押して、（再生）再生モードに切り替える。P18
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	—

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P30
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク] が表示されないなど）	●付属のUSB／ビデオケーブルを使用していない。	→付属のUSB／ビデオケーブルを使う。
	●USB／ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P91 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。
	●本カメラの動作を妨げている他のドライバまたはカメラがある。[デバイスマネージャ] を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] を確認してください。	→[Digicam USB Mass Storage] に、黄色い「！」マークが付いているときは、[Digicam USB Mass Storage] を [削除] してから、カメラを取り外し、もう一度接続し直す。
	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ] を開き、[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] を確認してください。	→[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ] に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。

症状	原因	処置
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USB／ビデオケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。P91 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラ取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→カメラを取り外すときは P95 に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

［デバイスマネージャ］は、［マイコンピュータ］または［コンピュータ］から右クリックで［プロパティ］を選ぶか、［コントロールパネル］から［システム］をダブルクリックして、［システムのプロパティ］から開きます。

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●［表示言語（Language）］が［English］なっている。	→［表示言語］を［日本語］に切り替える。P62
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。（BUSYランプの点灯が消えないなど）	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P26
	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。P29 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。P29 →お買い上げの販売店へご相談ください。
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→もう一度電源をオンにする。 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P64
	●ストロボを充電している。	→ストロボの充電中は液晶モニターは表示されません。

警告表示など

表示	原因	処置
🔒(カードロックアイコン)[撮影時]	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P30
画像がありません	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。

■ メニューと設定項目

【　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P66	【2592×1944】／2048×1536／1600×1200／1280×960
		画質	P66	【ファイン】／ノーマル
		ホワイトバランス	P70	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		露出補正	P72	-2 ● • • -1 ● • • 【0】 ● • • +1 ● • • +2 ●
		色効果	P74	【フルカラー】／セピア／白黒
		セルフタイマー	P75	【オフ】／10秒
		撮影モード	P78	【シングル撮影】／連写撮影
動画撮影モード	撮影メニュー	ホワイトバランス	P70	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		画質	P66	【ファイン】／ノーマル
		露出補正	P72	-2 ● • • -1 ● • • 【0】 ● • • +1 ● • • +2 ●
再生モード	再生メニュー	消去	P49	画像を消去します。
		プロテクト	P80	画像プロテクトを設定します。
		スライドショー	P85	スライドショー再生を開始します。※静止画再生のみ
		カードへコピー	P87	内蔵メモリーのデータをメモリーカードへコピーします。
セットアップモード	設定メニュー	フォーマット	P58	内蔵メモリー／メモリーカードをフォーマットします。
		初期設定に戻す	P60	各設定内容を初期設定に戻します。
		表示言語	P62	【日本語】／ENGLISH(英語)／简体中文(中国語)
		オートパワーオフ	P64	オフ／【1分】／3分
		電源周波数	P32	【50Hz】／60Hz
		ビデオ出力	P54	【NTSC】／PAL
		日付/時刻	P34	日付/時刻の設定画面を表示します。

■ 仕様

有効画素数		約500万画素
撮像素子		1/2.5インチCMOSイメージセンサー （総画素数：約517万画素）
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB/1/2GB）（※1）、内蔵32MBフラッシュメモリー（※2）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	2592×1944ピクセル（約500万画素） 2048×1536ピクセル（約315万画素） 1600×1200ピクセル（約192万画素） 1280×960ピクセル（約123万画素）
	圧縮率	ファイン（1/8）／ノーマル（1/20）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声あり）
	記録画素数	640×480ピクセル
	フレームレート	約30フレーム/秒
	圧縮率	ファイン（1/12）／ノーマル（1/16）
レンズ	構成	4群4枚（非球面レンズ2枚）
	焦点距離	f=7.35mm（35mmフィルム換算：約44.6mm）
	F値（最大値）	F3.2
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタル4倍ズーム
液晶モニター		2.4型TFTカラー液晶 約11.2万画素（480×234ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約100cm～∞、マクロ：約13cm～約16cm
シャッター		電子シャッター、1/4～1/2000秒
撮像感度		ISO100相当
測光方式		中央部重点平均測光（48ポイント測光）
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV～+2.0EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス		オート／プリセット（晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯）
色効果		フルカラー／セピア／白黒
ストロボ	連動範囲（推奨）	約1.0m～約1.5m
	発光モード	オート／発光禁止／強制発光
	ガイドナンバー	4.0
セルフタイマー		オフ／10秒
撮影モード		シングル（通常）撮影、連写撮影（3枚連写、約1秒間隔）、動画撮影
再生モード		シングル（通常）再生、インデックス（9分割）再生、スライドショー再生、動画再生
オートパワーオフ		オフ／1分間／3分間
インターフェース		USB端子（USB（1.1仕様）、ビデオ出力）
電源		単4形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））、USB接続時：パソコンより供給
外形寸法		幅91.8×奥行28×高さ58.8mm（突起部含む）
質量		約87g（電池、付属品除く）
使用条件		0℃～40℃、湿度90%以下（結露しないこと）

（※1）SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコムのSDメモリーカードを推奨します。
（※2）内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約22MBです。

画像記録枚数・時間（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	内蔵32MBフラッシュメモリー	SDメモリーカード64MB（別売）
2592×1944（約500万画素）	ファイン	約15枚	約45枚
	ノーマル	約26枚	約81枚
2048×1536（約315万画素）	ファイン	約24枚	約73枚
	ノーマル	約43枚	約131枚
1600×1200（192万画素）	ファイン	約40枚	約121枚
	ノーマル	約72枚	約216枚
1280×960（約123万画素）	ファイン	約64枚	約190枚
	ノーマル	約113枚	約339枚
640×480【動画】	ファイン	約24秒	約53秒
	ノーマル	約27秒	約62秒

（※3）画像記録枚数・時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※4）

使用電池	撮影可能枚数 CIPA（※5）	再生時間（※6）
単4形アルカリ乾電池LR03（付属）	約50枚	約60分

（※4）標準環境において、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※5）CIPA(カメラ映像機器工業会）規格による撮影条件
- 30秒間隔でストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

（※6）約3秒1コマを連続で再生した場合

■ 索引

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87
(受付時間)9:00〜19:00(365日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739
(受付時間)9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

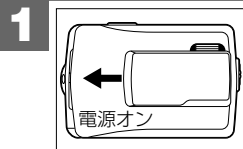
- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス
http://www.hitachi-ls.co.jp/

撮影する

詳しくは**静止画を撮る** P36 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**電池を入れる** P26 に従って、電池を挿入してください。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
  その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる** P34 の手順で日付／時刻を設定してください。

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

2

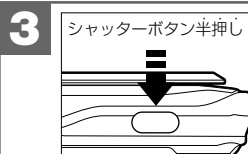
両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように構図を決めます。

3

シャッターボタン半押し

シャッターボタンを半押しします。

液晶モニターに【　】が表示されます。

4

シャッターボタン全押し

半押しのまま、被写体の中心を【　】にあわせ、シャッターボタンをさらに押し込みます（全押し）。

シャッターがきれます。

撮影した画像を見る

詳しくは**静止画を見る** P45 ／**動画を見る** P48 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生の他に、ズーム再生、P46 インデックス再生（9分割）P47 、スライドショー再生 P85 、動画再生 P48 があります。

1

レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

2

静止画撮影モードから を押します。

最後に撮影された画像が表示されます（シングル再生）。

3

【▲】【▼】で画像を選びます。